

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 発達と学習 Development and Learning Psychology | | | ナンバリング No. | L1-009 | | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 小竹仁美 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-ラーニング、本館2階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは担当教員から説明する。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(栄養教諭取得必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP1 DP2 DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>人の発達と学習の過程についての諸理論を、特に乳幼児期から青年期にかけてワーク等を活用して体験的に学び、それを基礎に学校現場で生じる諸事例について考察を行う。</p> <p>① 子どもの発達について説明できるようにする。</p> <p>② 発達に伴い生じやすい心理的課題について理解し、解決に向けて適切な対応をとることができるようにする。</p> <p>③ 学習に関わる理論を学び、発達段階等に適した学習指導方法を選択し、実際の現場で応用できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義形式と、グループワークなどの参加型形式。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 乳幼児期から青年期までの発達の過程と特徴、生じやすい心理的課題について予備知識を得て、教員としての基本的な態度や対応を習得することができる。 | | | | | |
| | L03 | 発達段階等を想定し、授業計画を立て、授業方法を工夫した模擬授業を行うことができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 授業参加態度、発表は実施後に各自にフィードバックする。試験は実施後に模範解答を示す。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 教科書:教職ベーシック 発達・学習の心理学[新版](柏崎秀子編著、北樹出版) ※必ず購入し、第1回目の授業の時に持参すること。 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●栄養教諭をとうろうという目的意識を明確にもっていること。●ディスカッション等に積極的に参加すること。●模擬授業用の材料費は個人負担である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S 評価は、授業に積極的に参加していることである。20%の配点。 | | 10 | 10 | |
| レポート/作品 | S 評価は、授業で学んだ内容に基づいて書かれ、期日までに提出していることである。30%の配点である。 | | 15 | 15 | |
| 発表 | S 評価は、模擬授業において、授業対象者の年齢を設定し、その発達段階にふさわしいテーマを選択し、説明用の教材とことばを工夫し、落ち着いた態度で実施していることである。30%の配点。 | | | 30 | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | レポート試験を実施する。20%の配点である。 | | 10 | 10 | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 35 | 65 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---------------------------------|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス、教職を目指す動機、発達とは、発達と教育 |
| | 事前・事後学習 | 教職で心理学を学ぶ意義を考える。 |
| 2 | 授業内容 | 乳児期の発達(映像視聴)【課題1】、障害の理解(乳児期) |
| | 事前・事後学習 | 映像視聴後の報告書を作成する。 |
| 3 | 授業内容 | 幼児期の発達、障害の理解(乳幼児期) |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。 |
| 4 | 授業内容 | 児童期の発達、障害の理解(児童期) |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。 |
| 5 | 授業内容 | 青年期の発達、障害の理解(青年期) |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。 |
| 6 | 授業内容 | 学習理論 I、模擬授業についての説明 |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。模擬授業のテーマを考える。 |
| 7 | 授業内容 | 学習理論 II、模擬授業のテーマについてディスカッション |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。 |
| 8 | 授業内容 | 学習と記憶、動機づけ、模擬授業のテーマ提出【課題2】 |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。模擬授業の準備を進める。 |
| 9 | 授業内容 | 学力と知能、模擬授業進捗状況報告① |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。模擬授業の準備を進める。 |
| 10 | 授業内容 | 学習指導法、教育評価、模擬授業進捗情報報告② |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。模擬授業の準備を進める。 |
| 11 | 授業内容 | 学級集団づくり、模擬授業進捗情報報告③ |
| | 事前・事後学習 | 教科書の範囲を復習する。模擬授業の準備を進める。 |
| 12 | 授業内容 | 学校における防災教育、模擬授業進捗情報報告④(最終、提出) |
| | 事前・事後学習 | 子ども向けの防災教育の教材を調べる。模擬授業の予行練習を行う。 |
| 13 | 授業内容 | 模擬授業実施 前半 |
| | 事前・事後学習 | 模擬授業実施後の報告書を作成する。【課題3】(13回実施者) |
| 14 | 授業内容 | 模擬授業実施 後半 |
| | 事前・事後学習 | 模擬授業実施後の報告書を作成する。【課題3】(14回実施者) |
| 15 | 授業内容 | 授業のまとめ |
| | 事前・事後学習 | 授業の振り返りをする。 |